

ドイツ語（初級B） 第26回 形容詞・副詞の比較

範囲：教科書第16課A（S.62-64）

《今回の基本例文》

90. Deutsch ist so schwer wie Französisch. (CD78-2)

ドイツ語はフランス語と同じくらい難しい。

[同等比較 (so+原級+wie)]

91. Die Jungfrau ist höher als der Fuji. (CD79-3)

ユングフラウは富士山より高い。

[比較級の述語的用法 (比較級+als)]

92. Barbara ist die kleinste in ihrer Familie. (CD80-1)

バルバラは家族のなかで最も背が低い。

[最上級の述語的用法 (定冠詞+...ste)]

93. Der Blick auf den See ist von hier am herrlichsten. (CD81-1)

湖への眺望は、ここからが最もすばらしい。

[最上級の述語的用法 (am+...sten)]

94. Die Donau ist ein längerer Fluss als der Rhein. (CD82-2)

ドナウ川はライン川より長い河川である。

[比較級の付加語的用法 (混合変化)]

95. Der Pazifik ist das größte Meer der Welt. (CD82-4)

太平洋は世界最大の海洋である。

[最上級の付加語的用法 (弱変化)]

I 形容詞の比較級と最上級

A. 形容詞・副詞の比較 (S.62)

1 形容詞の比較変化

比較級（より～である）＝ 原級 ＋ er

最上級（最も～である）＝ 原級 ＋ st

◇ 英語と同じく、ドイツ語の形容詞にも原級、比較級、最上級が存在する。もちろん、辞書に載っている基本的なかたちは原級であり、ほか2つについては、

- ・比較級：「より～である」
- ・最上級：「最も～である」

の意味となる。

◇ 形容詞の比較変化には、やはり規則変化と不規則変化がある。

* 英語を思い出すと、big - bigger - biggest（規則変化）、good - better - best（不規則変化）のような比較変化が存在した。

◇ **規則変化**は、

- ・ **比較級は原級+er** によって、**最上級は原級+st** によってつくる：

klein (*adj.* 小さい) - kleiner - kleinst...

klar (*adj.* 澄んだ) - klarer - klarst...

* 英語の最上級（規則変化）が *-est* であるのとは異なることに注意。

* * 英語の場合、音節数の多い形容詞の比較級は *more*、最上級は *most* を使用してつくる。例えば、*beautiful - more beautiful - most beautiful*。ドイツ語にはこの規則はない。

- ・ ウムラウトできる幹母音 (a, u, o) を含む場合、比較級と最上級は**変音**するものが多い：

klug (*adj.* 賢い) - klüger - klügst...

* 前掲の klar のように、a, u, o を含んでいるからといって必ず変音するわけではない。

- ・ 原級が *-d, -t, -tz, -z, -s, -ss, -sch, -ß* で終わる場合、最上級は**原級+est** になる：

gesund (*adj.* 健康な) - gesunder - gesundest

alt (*adj.* 古い、年上の) - älter - ältest...

* alt の場合、変音もしている。

- ・ ほか、いくつか細かい規則があるが、現段階ではこれだけ覚えればよい。

◇ **不規則変化**は、教科書にあるものを覚えること。

原級	比較級	最上級	意味
gut	besser	best	よい
viel	mehr	meist	多い
groß	größer	größt	大きい
hoch	höher	höchst	高い
nah	näher	nächst	近い

・ 厳密に言えば、viel は形容詞ではなく、不定代名詞の仲間である。このため、付加語として用いた場合でも、viel は性数格変化をしない場合が多く、viel の比較級 mehr は確実に性数格変化をしない。よって、「たくさんのお金」は viel Geld、「より多くのお金」は mehr Geld になる。（⇒教科書 S. 63）

* 「viel は性数格変化をしない場合が多い」と書いたが、する場合もある。ただし、初級を逸脱するやや高度な文法事項なので、ここでは触れない。

・ 上記の性質は、viel の反意語である wenig（少ない）やその比較級 weniger にも該当する（ただし wenig は規則変化）。「少ないお金」は wenig Geld、「より少ないお金」は weniger Geld。ほか、genug（十分な、英 *enough*）なども同様。

・ hoch の比較変化については、ch は a, o, u のあとでは [x] 音、それ以外では [ç] 音になるため、発音に注意しなければならない。hoch は [ho:x]、höher は [hø:ər]、höchst は [hø:çst] になる。

* hoch はそもそもやや特殊な形容詞で、付加語用法では hoh-となった。（⇒教科書 S. 39）

練習

次の形容詞の比較級と最上級を答えよ（いずれも規則変化、ただし 6～10 は変音あり）。

1. fleißig 2. tüchtig 3. faul 4. glücklich 5. neu

6. arm 7. kalt 8. krank 9. dumm（愚かな） 10. grob（粗い）

2 原級による比較の用法（同等比較）

so + 原級 + wie ... : 「...と同じくらい～である」（同等比較）

- ◇ **同等比較**は **so+原級+wie ...**による（英語の「*as + 原級 + as...*」に相当）。
- ◇ **wie** は前置詞ではなく接続詞である。主語と同格の対象を比較する場合（「A は B と同じくらい～である」の場合）、**wie** の次は1格になる。

Joachim ist **so alt wie** Christian.

（1格）

（1格）

ヨアヒムはクリスティアンと同年である（同じくらい年配である）。

- ◇ 同等比較の否定は劣等比較の意味になる。

Er ist nicht **so alt wie** ich.

彼は私より年上ではない。

= Er ist jünger als ich.

彼は私より若い。

* 後者は比較級を用いた書き換え。比較級については教科書3を参照。

** 前述の通り **wie** は前置詞ではないので、**wie ich** となっているところにも注意。英語でも正式には *as old as I* である。

- ◇ 倍数や分数を表す形容詞を **so+原級+wie ...**の前に挿入することで、「～倍」や「～分の一」を表すことができる。**doppelt**（倍の）、**dreimal**（3倍の）、**halb**（半分の）など。

Er ist doppelt **so reich wie** ich.

彼は私の倍ほどの金持ちである。

Die Ernste ist dieses Jahr halb **so gut wie** im vorigen Jahr.

今年の収穫は去年の半分くらいしかない。（収穫は、今年においては去年の半分くらいしかよくない。）

* この場合、副詞的4格である **dieses Jahr** と副詞句である **im vorigen Jahr** を比較している。

3 比較級の述語的用法

比較級 + als ... : 「...よりも～である」

- ◇ **比較級+als ...**で、「比較対象（als 以下）より～である」の意味（英語の「*比較級 + than*」に相当）。
- ◇ **als** はやはり前置詞ではなく接続詞なので、主語と同格の対象を比較する場合、**als** の次は1格。

* 英語でも「私より背が高い」と言うときは、*taller than me* は略式で、正式には *taller than I* である。

Gestern war es **wärmer als** heute.

昨日は今日よりも暖かかった。

Hans ist **größer als** Peter.

ハンスはペーターよりも背が高い。

* 上の文は *gestern* と *heute* という副詞同士を、下の文は主語（人間）と別人を比較している。

Er ist **jünger als** ich. = Er ist nicht so alt wie ich.

彼は私より若い。

4 最上級の述語的用法 (S. 63)

定冠詞 + ...ste : 「最も～である」

am + ...sten : 「最も～である」

◇ 英語で形容詞の最上級を補語として「最も～である」と言う場合、一般に最上級には *the* をつける。

This lake is the deepest in Japan.

ドイツ語でも同様に、最上級を述語内容語にするときには定冠詞をつける。そのとき、ドイツ語では定冠詞に性数格の変化があり、さらに定冠詞＋形容詞では弱変化の語尾（⇒教科書 S. 39）が必要である。述語内容語は 1 格なので、述語内容語とした最上級には弱変化 1 格の語尾 -e を加え、

・定冠詞 + ...ste

としなければならない。もちろん、定冠詞の種類は主語の性に依存して、主語が男性名詞なら *der*、女性名詞なら *die*、中性名詞なら *das*（いずれの場合も弱変化 1 格は -e である）。

* 形容詞の名詞化と異なり、最上級の語頭は小文字でよい。うしろに名詞が省略されている、と考えるためと思われる。

Dieser See ist der tiefste in Japan.

この湖は日本で最も深い。

Er ist der begabteste in unserer Klasse.

彼は私たちのクラスで最も才能がある。

* いずれも主語が男性（の人称代名詞）なので、定冠詞には *der* が選択されている。

◇ 一方、前置詞 *an* と定冠詞の融合形 *am* を最上級につけるやり方もある。*am = an dem* なので、こちらでも結局は定冠詞（男性もしくは中性 3 格）を最上級につけているのと同じである。よって、弱変化の男性 3 格もしくは中性 3 格の語尾 -en を加え、

・am + ...sten（最上級の弱変化 3 格）

とする。この場合、主語に応じた定冠詞を選ぶ必要はない（その意味で「定冠詞 + ...ste」方式より楽）。

Er ist am begabtesten in unserer Klasse.

彼は私たちのクラスで最も才能がある。

* 前掲の 2 番目の文の書き換え。

◇ 「定冠詞 + ...ste」方式と「am + ...sten」方式は、通常はどちらを用いてもよい。ただし、ある主語の属性を複数の条件のもとで比較する場合は、「am + ...sten」方式を用いる。

Im Winter sind die Tage am kürzesten.

冬には日が一番短くなる。

* 主語 *die Tage* (*Tag m.* の複数形、日々) の長さを季節という複数の条件ごとに比較している文。

5 比較級・最上級の付加語的用法

◇ 形容詞の比較級も最上級も、**付加語**や**名詞化**として用いる場合、名詞の性数格に応じて変化する。

Wir müssen unser Bestes tun.

私たちはベストを尽くさねばならない。（⇒教科書 S. 41）

* 混合変化の中性 4 格の名詞化が用いられている。むろん、*best* は *gut* の最上級（不規則変化）。

◇ 変化形は一般の（原級の）形容詞と同じ。

《形容詞の復習》

用法：a) 付加語、d) 名詞化（格変化あり）

b) 副詞、c) 述語（格変化なし）

格変化：無冠詞 → 強変化

定冠詞（型）つき → 弱変化

不定冠詞（型）つき → 混合変化

* 強変化／弱変化／混合変化の表は教科書 S. 39-40 を、それらの覚え方は授業第 17 回配付資料 S. 3-4 を参照のこと。

つまり、比較級や最上級の付加語用法の場合、比較級や最上級の語尾に加えて形容詞の付加語用法の語尾がつく。例えば、jung（若い）の比較級は jünger であるが、これで Sohn (m. 息子) を修飾して「年下の息子」と言いたい場合、下記のようになる。

	強変化	弱変化	混合変化
1 格	jüngerer Sohn	der jüngere Sohn	ein jüngerer Sohn
2 格	jüngeren Sohns	des jüngeren Sohns	eines jüngeren Sohns
3 格	jüngeren Sohn	dem jüngeren Sohn	einem jüngeren Sohn
4 格	jüngeren Sohn	den jüngeren Sohn	einen jüngeren Sohn

* 複数省略。1 格はそれぞれ jüngere Söhne, die jüngeren Söhne, meine jüngeren Söhne である。

** これらの発音に関しては、付加語用法の語尾のついていない jünger が jün|ger と音節ごとに切れるのに対して、jüngerer は jün|ge|rer、jüngere も jün|ge|re と切れる（ihr や unser など所有代名詞のときと同じ）。

◇ 形容詞の比較級を付加語や名詞化として用いた場合でも、比較の対象は als で表すのは変わらない。

Heute haben wir schöneres Wetter **als** gestern.

今日は昨日より天気がよい。（今日、我々は昨日より美しい天気を持っている。）

* 比較級、強変化の中性 4 格。

Ich fahre mit meinem jüngsten Sohn.

私は私の末の息子と車で行く。

* 最上級、混合変化の男性 3 格。

Das ist das Schönste, was ich je gesehen habe.

それは、私が今までに見た、最も素晴らしいものである。（⇒教科書 S. 61）

* 最上級、弱変化の中性 1 格の名詞化。最上級の名詞化を先行詞とする場合、関係代名詞には was を用いる。

6 副詞の比較 (S. 64)

比較級（より～である）：原級 + er

最上級（最も～である）：am ...sten

* 原則として形容詞と同じと考えればよい。

◇ ドイツ語の副詞にも原級、比較級、最上級が存在する。

◇ 不規則変化の副詞としては、さしあたり **gern – lieber – am liebsten** を覚える。

◇ 副詞の場合も、比較級のつくり方、同等比較、比較級 + als の用法については形容詞と同じ。ただし、副詞の最上級は常に am + ...sten となる。

Das Auto fährt schneller als das Fahrrad, aber der D-Zug am schnellsten.

自動車は自転車よりはやく走るが、急行列車が最もはやく走る。

Ich trinke lieber Wein als Bier, aber Schnaps trinke ich am liebsten.

私はビールよりワインが好きだが、シュナップスが一番好きである。

* Schnaps はアルコール度数の高い蒸留酒の総称。教科書で「焼酎」と訳されているのは著者の世代ゆえと思われる。

7 比較級を用いた重要表現

◇ immer＋比較級 / 比較級 und 比較級：「ますます～」

・英語の「比較級 and 比較級」に相当。

Der Taxifahrer fuhr immer schneller. = Der Taxifahrer fuhr schneller und schneller.

タクシー運転手はますますスピードを上げた。

Die Tage werden immer länger. = Die Tage werden länger und länger.

日がどんどん長くなる。

◇ je＋比較級 ～ , desto＋比較級 ... / je＋比較級 ～ , um so＋比較級 ...：「～すればするほど...」

・英語の「the＋比較級, the＋比較級」に相当。

・この場合、最初の je＋比較級が副文、desto＋比較級が主文になる。このため、je＋比較級は定動詞後置、desto＋比較級は定動詞第2位。

Je mehr er trank, desto lustiger wurde er.

(副文) (主文)

飲めば飲むほど彼は陽気になった。

* desto lustiger のあとに定動詞 wurde が来ている（定動詞第2位）。

** この構文の場合、副文 Je mehr er trank を一要素として次に定動詞を置くことにはならない。副文を文頭に出した文（⇒教科書 S. 35）のなかでは特殊例にあたる。むしろ、Je mehr er trank, desto lustiger まで一要素と考えた方がよい。

■ 練習問題の補足

Übung 2 (S. 63)

2～3. 山や川の固有名詞にも文法上の性が決まっており、定冠詞をつけて呼ばれる。der Rhein (m. ライン川)、die Donau (f. ドナウ川)、die Jüngfrau (f. アルプスのユングフラウ峰) など。日本の山や川にも性別が与えられる。der Fuji (m. 富士山)、der Tone (m. 利根川) など。

* 固有名詞の性別がわからない場合、辞書に載っていないなら、ドイツ語版 wikipedia などが参考になる場合がある。

Übung 5 (S. 64)

2～3. 同上。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<https://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>